

平成17年第4回川崎市議会定例会

請願陳情文書表

(その1)

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
93	17. 10. 7	「(仮称)天然温泉 宮前平店」の計画変更を求める請願	宮前区 「宮前平地区の生活環境を守る会」 ほか233名	大 島 明 織 田 勝 久 平 子 瀧 夫 石 川 建 二 佐々木 由美子	文教地区であり、閑静な住宅街でもある宮前区宮前平地区に、大規模公衆浴場施設建設の話が持ち上がりました。 業者は、任意の説明会を開催しましたが、参加地域住民をどう喝をもって選別し、入場拒否するという異常事態のもとで強行され、強い不信感を持つに至りました。 地域住民は、開設営業後における①近隣就学児童の安全、保護の視点、②車両通行量の増大見込みなどに伴う周辺生活環境悪化の懸念、③温泉地下水揚水に伴う地盤沈下の懸念、④施設工事期間の工事公害の懸念、など多くの問題点を不安として抱えている現状です。 つきましては、次の次項を請願します。 1 業者への不信感を払しょくさせる行政の適切な指導 2 大規模公衆浴場のあり方を含め、計画変更に向けての慎重な審議 3 計画変更に必要な条例等の法整備に向けた検討	まちづくり委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
94	17. 10. 12	藤和宮前平3丁目マン ションの計画変更に関 する請願	宮前区 藤和宮前平3丁目 マンション建設を 考える会 ほか619名	浅 野 文 直 潮 田 智 信 平 子 瀧 夫 石 川 建 二 猪 股 美 恵 佐々木 由美子	宮前区宮前平3丁目13番1に藤和不動産が建築計画中の（仮称）宮前平3丁目マンションは近隣住民への配慮を無視した事業者本位の計画のため、生じる被害が受忍限度を超えるものとなっています。私たちは再三、計画の変更をお願いしてまいりましたが、聞き入れてもらえませんでした。 私たち周辺住民の穏やかで安全な生活を守るため、ひいては計画中のマンションに入居される方々のためにも、周辺住民の意向を聞き、周辺の環境に配慮した住宅を建てていただきたいと切に願います。 つきましては、この計画について、日影、景観、安全等に配慮した計画に変更した後、工事について協定を結んだ上で進められますよう市当局においてご指導されることを願い、市議会におかれてはその実現にご尽力くださいますようお願いします。	まちづくり 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
95	17. 10. 26	麻生区虹ヶ丘1丁目西側(王禅寺志村谷)宅地開発区域における歩道設置に関する請願	麻生区 虹ヶ丘一丁目自治会 ほか5団体	尾 作 均 伊 藤 久 史 花 輪 孝 一 竹 間 幸 一 猪 股 美 恵 佐 藤 喜美子	麻生区虹ヶ丘一丁目西側と王禅寺志村谷とを区画する市道は交通量が非常に多く、歩行者と車の分離のない極めて危険な状況となっています。 この道路は、王禅寺中学校に通う通学路に当たっており、また、「柿生の里散歩道」のルートにも組み込まれ、年配者の通行も頻繁です。 この道路の東側には既に住居が建っており、歩道を設置する用地は今回開発が予定されている西側地域だけですので、開発時の今を除いて設置のタイミングはありません。 つきましては、当該区画の市道に隣接して歩道を設置いただきたくお願いいたします。	まちづくり委員会
96	17. 11. 16	核拡散防止のためのプルトニウム抽出試験延期に関する請願	川崎区在住者 ほか17名	飯 塚 正 良 竹 間 幸 一 前 田 絹 子	核拡散防止のために日本原燃株式会社が六ヶ所再処理工場において実施しようとしているプルトニウム抽出試験を延期するよう求める意見書を国あてに提出してください。	市民委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
9 7	17. 11. 18	稲田登戸病院を存続させ地域医療の充実を求める請願	横浜市金沢区在住者 ほか10,000名	石 田 康 博 玉 井 信 重 平 子 瀧 夫 井 口 真 美 猪 股 美 恵 佐 藤 喜美子	国家公務員共済組合連合会は、稲田登戸病院を来年（2006年）3月末で閉院しようとしています。住民の皆さんから「稲田登戸病院が閉鎖したらどこへ行けばよいのか」との不安の声が多く上がっています。 川崎北部地域の医療をいっそう充実させ、地域に根ざした安全・安心できる医療の実現のため、稲田登戸病院の存続を強く求めます。	健康福祉 委員会

陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
117	17. 10. 20	向丘診療所の存続に関する陳情	宮前区 向丘診療所を存続させる地域の会 ほか1,143名	市は、財政緊迫による問題、向丘診療所の家屋の老朽化、北部病院開設等の理由で、向丘診療所を廃止する案を出しております。 私ども地域住民は、老若男女、幼児に至るまで日常において最も安心、信頼できる医療機関として向丘診療所を評価し頼りにしております。 向丘診療所を末永く存続させていただきたくお願い申し上げます。	健康福祉 委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
118	17. 10. 26	障害者福祉の充実を求める陳情	宮前区 社会福祉法人みのり会	市は、障害のある人もない人もともに暮らすことのできる共生社会を実現することを目的とする「新かわさきノーマライゼーションプラン（障害者保健福祉計画）」において、地域での自立した生活の推進のために「障害のある方には、その障害のゆえに、ニーズの実現には特別の困難があり、特別な支援を必要とします。」と示しています。しかしながら市は財政難を理由に、障害者施策についても「見直し」「削減」の方向を強めています。 今以上の施策の後退がないよう、真に「新ノーマライゼーションプラン」実現のために、次の事項を陳情いたします。 1 国が応益負担を実施しても、市にあっては障害者が在宅支援サービスを必要な時、必要な量を受けられるように、その利用料については成人期障害者の所得が生活保護費にはるかに届かないことに配慮し、現状を上回ることがないように特別な支援策を策定してください。 2 平成17年度に見直しを行おうとしている「市営バス特別乗車証」「民営バス乗車券」「乗合バス（市営バス・民営バス）運賃割引」「精神障害者バス乗車券」「重度障害者福祉タクシー利用券」について、応益負担を求めることがないように、また、現行制度を下回ることがないようにしてください。	健康福祉 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
119	17. 11. 7	障害者自立支援法の施行に関する国への意見書提出についての陳情	相模原市鹿沼台 障害児者の生活と権利を守る神奈川県連絡協議会	障害者自立支援法が成立し、新法に基づいた障害者福祉・医療サービスが来年4月から段階的に実施されます。障害者自立支援法の施行に関して、次の点を早急に検討することを要望する意見書を、貴議会の総意で政府に提出してください。 1 定率負担（応益負担）の実施は、障害者と家族の声を十分に聞いて見直すこと。 2 利用者の実態や意見を最大限に反映できる障害程度区分の認定に改めること。 3 障害程度区分によって、利用するサービスに制限が加えられることのないようにし、現在、利用しているサービス水準は維持すること。 4 利用者の実態を踏まえ、必要なサービスが利用できる国庫補助基準を設定すること。	健康福祉 委員会
120	17. 11. 29	禁煙区域内喫煙者に対する例外なし過料適用に関する陳情	中原区 嫌煙権確立をめざす人びとの会	平成18年（2006年）4月施行予定の「川崎市路上喫煙の防止に関する条例」に関し、現在の市当局の説明では、「重点区域で、市から路上喫煙をやめるよう注意・指導され、さらに命じられても、これに従わなかった者に、罰則を適用することを予定しています。」となっています。 しかし、この対応では、路上喫煙をなくすことは不可能です。 よって、禁煙区域内において喫煙者を発見した際は、例外なく過料を適用することを陳情いたします。	市民委員会